

令和4年度愛媛県食の安全安心推進県民会議（書面開催）開催結果について

1 令和5年度愛媛県食品衛生監視指導計画（案）について

意見あり 0件

意見なし 10件

2 その他の御意見

3件

近年は、手指消毒や手洗い、飲食店等の営業短縮などコロナウイルスの感染防止対策により食中毒の発生件数も減少傾向にあるが、「5類」への移行により、今後、食中毒等の食品事故の増加が懸念される。

コロナの終息は難しいことかもしれないが、大量調理による販売物の生産が活発となってきた。衛生管理については、生産者の方々へ向けて衛生指導の徹底をお願いしたい。

監視指導計画では、食品等の流通実態、食中毒等の危害発生状況等を踏まえ、愛媛県の実情に即応した監視指導を実施することとしています。引き続き、生産から販売に至る食品供給工程（フードチェーン）の各段階に応じた監視指導を実施します。

コロナ禍で停滞していたイベントが、今年からは多く開催・再開されると予想され、これまで以上に食品衛生対策が必要な状況になるかと思われる。食品衛生に関わる知識が、正しく広がっていく機会を今後さらに増やしていくことが必要と考える。

監視指導計画では、消費者に対する正しい知識の提供や、食品衛生監視員、食品等事業者の知識向上を目標としています。各種講習会に保健所職員（食品衛生監視員）も派遣し、最新の情報や知識の向上に努めるとともに、食の安全安心県民講座をはじめ保健所等で行われる各種講習会の場を利用し、法改正や新制度等最新の情報について、食品関連事業者や消費者等に広く情報発信を行います。